

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 元 年 12 月 16 日

事業所名 第2放課後等デイサービスぽこぽこ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	1	人数が多いときは、狭い印象はありますが、国の指定基準を満たしたスペースの確保をし、活動スペースとして提供させていただいています。安全に注意して活動や支援を行っています。	一つの部屋に全員が集まると狭いと感じることがあるため、活動グループを分けたり体育館など広い場所での活動を提供して行きます。
	2	職員の配置数は適切であるか	7		国の職員配置指定基準を満たした職員数を配置しています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	2	段差など構造上難しいですが、ステップを置くなどの配慮をしています。	ニーズに応じて検討、改善をして行きます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか	7		開始前にミーティングを行っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7		評価表を活用し保護者様の意向を業務に取り入れられるようにしております。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7		自己評価は、平成29年度より公開しています。	今後も自己評価の結果や広報をHPにて公開して行きます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	4		実施していませんが、今後必要に応じて検討していきたいと思います。
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7		必要な研修は回数を増やすなど機会を設けています。また、園内研修への参加の周知を図ったり、自主研修の情報提供を行っています。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7		要望を取り入れながら、個々に合わせた活動内容を検討する時間を設け立案を行っています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7		固定化しないように配慮している。随時おさまの状況に応じて、プログラムの見直しを行っています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7		児童の変化によってその都度情報共有を図っています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7		それぞれ職員間で、その日の支援の振り返りを行うと共に気づいた点を話合っています。また、終了後に振り返りが出来ない時は、翌日に行い、より良い支援へと繋げていきます。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7		日々ケース記録を作成し、支援の検証・改善に繋げています。	今後も日々のケース記録を作成し、支援の検証・改善に繋げ、より良い支援を目指します。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7		必要に応じて随時対応しています。		

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	7			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7		児童発達支援管理責任者が出席するようにしています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	7		学校との情報共有を図っています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	5	2	医療的ケアが必要な子どもさんのご利用はありません。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6	1	ご利用の子どもさんの対象年齢が高学年以上の方が主ですが、必要に応じて情報共有を行っています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	7			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		7	交流は実施していない。	現在は、行っていませんが、機会をとらえ交流を図っていききたいと思います。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	7		児童発達支援管理責任者が参加しています。今後も協議会等へ参加していきます。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	7			
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	1	交流会などを通して連携を図っている。	父母の会や、保護者会はないですが、行事等を通してご家族様の交流を図る工夫を今後も行っていきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7		子どもやご家族様からの苦情申し入れに対し、苦情受付窓口を設けており、適切な対応を心がけています。今後も苦情に対して、迅速で適切な対応をしていきます。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7			
	35	個人情報に十分注意しているか	7			

	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7		利用者・家族様ともに意思疎通・情報交換の為に細心の配慮を心がけています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6	1	行事などを通して地域との交流が図れる様に工夫して行きます。	行事や外出などを機会をとらえ地域との交流が図れる様に今後も工夫して行きます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7		毎月1回、避難訓練を行っています。今後も継続していきます。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7		虐待防止に関する研修会を定期的に開催し、適切な対応を心がけています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7		ヒヤリハット例があった場合は、毎日の記録に載せ、定期的に職員間で検証を行っています。	

